

# 『防災情報通信講演会』を開催 ～情報通信における防災・減災に関する取り組み～

総務省 北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、平成30年6月13日（水）、KKRホテル金沢において「防災情報通信講演会」を開催しました。

講演会には、国や地方公共団体などの防災関係機関、電気通信事業者、放送事業者など約100名が参加しました。

（主催：総務省北陸総合通信局、後援：北陸地方非常通信協議会、北陸情報通信協議会）



【講演会の様子】

はじめに、総務省総合通信基盤局重要無線室の村上 聡 室長が「情報通信分野における防災・減災に関する取り組みについて」と題し、非常通信訓練の具体例、市町村防災行政無線の整備状況、戸別受信機の普及促進のための方策等のほか、災害時に現地から映像伝送が可能な公共ブロードバンド移動通信システム※1や今後導入が検討されている公共安全LTE（PS-LTE）※2を紹介しました。



【講師の村上室長】

※1 災害等の現場において公共機関が機動的かつ確実な映像伝送を実現するために、VHF帯の一部に導入されたシステム  
主に陸上での対向による映像伝送に利用される。

※2 警察や消防など公共での用途が想定された、LTE方式の専用ネットワーク



【講師の河合町長】

次に、福井県永平寺町の河合 永充 町長が「永平寺町の防災に向けた取り組み」と題し、町民一人ひとりが自主防災の意識を持ち災害発生時に的確に対処できる知識を身につけることの重要性を訴えるとともに、地域の人々が協力して防災活動を行っていく自主防災組織を育成していること、防災訓練も行政主導から自主防災組織が主導し、より実践的な訓練を実施していること、防災情報伝達媒体としては、防災行政無線屋外拡声機、戸別受信機、防災フリーダイヤル、防災メール、エリアメール、町のホームページ、ケーブルテレビ、facebookといった多様な伝達手段を用意・周知し住民への確実な情報提供に努めていることなど、永平寺町の事例を交えて防災への取り組みを紹介しました。

＜お問合せ先＞  
無線通信部陸上課  
076-233-4480